

全国協議会 ニュース

2007年12月1日発行
第186号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

ドナーデータ管理ミス問題発覚!!

去る11月9日深夜、テレビやウェブサイトのニュースは、日本赤十字社において、昨年11月以降およそ11か月余にわたり、骨髄バンクドナーデータの管理ミスがあったことを伝えた。何らかの理由で保留状態にあり、一時的に検索対象外であったドナー情報が、理由の解消にもない速やかに保留解除となるべきところ、三千六百名分以上のデータの検索データベースへの復帰が、行われていなかったというものです。

「ミスの影響はない」とするものから「移植が行われていた可能性が残る」とするもの、日赤の見解については「90人の患者に適合していた可能性があった」、「移植の取り組みが遅れた患者が6人いた」という感否も異なるが、マスコミがこのように不統一な捉え方をせざるを得なかったこと自体、バンク側のニュースリリースの仕方、およびその内容に瑕疵があったのではと推測せざるにはいられません。

事実関係については、骨髄バンクサイドからもたらされる以上の情報を得ることは、残念ながら私どもには出来ておりません。この件に関する財団の見解を本紙面「バンクNOW」に掲載(マ

スリーレポートより転載)しましたのでご覧いただきたいのですが、いまだ十分な説明はつきまわっていないように思います。骨髄バンクは多くの人の善意で成り立っているシステムです。たとえ一時的にせよ、また、ごく一部であらうとも、「データの放置」という形で善意がながしるにされたとしたら、それはシステムの不備と、システムを運営する組織の未熟さを自ら証明しているにも等しいでしょう。仮に患者の誰一人として影響を受けずに済んだとしても、それよしと片付けられる問題ではありません。骨髄バンクを構成する全ての関係者が、いまい度気を引き締めて、システムのあり方を見つめ直す必要があるように思います。(品川)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

私が来場者に「声がけ」を行った2日間は、両日とも穏やかな秋晴れの下、大勢の参加者で賑わいました。入場者が前回より8万人減った中で、17日間のドナー登録者は703名であり、献血者に占める登録者の割合が27%と概ね盛況であったことを知り、大変嬉しく思っています。

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

骨髄バンク推進月間特集

福岡 血液センターも慌てた 驚異のドナー登録者数

10月27、28日にイオンモール福岡ルクルで、福岡県と共催のイベント「骨髄バンク推進キャンペーン」を行いました。

内容は、いのちの輝き展、地元のパンドで7月にメジャーデビューしたisis(アイシス)のチャリテイライブ&トーク、それにドナー登録会です。午前中のみ両日とも「パルーンパフォーマー」のK.A.J.I.さんにお手伝いしていただきました。

今回のイベントでは、会場や商品の無料提供、機器操作のお手伝い

い、HPや店内案内等、それぞれの立場での協力が功を奏したのか、当日の朝一番には登録のためだけに来られた方が数名いらつしやつてびつくりしました。その後ひっきりなしに登録者が訪れ、初日は年間自分たちで骨髄バンクチャリテイライブを行っており、骨髄バンクのことに詳しく、若い世代の人たちに命の大切さや骨髄バンクの必要性を訴えてくれています。

彼らのトークや、またライブの合間に行われた移植を受けた患者さんや骨髄提供されたドナーさんの話を聞いて、登録をされた方も多かったです。

登録に来られた方の半数以上は、今まで骨髄バンクにドナー登録を

しようと思っていたが、どこでどうすればいいのかよく知らなかったということでした。いつもそうですが、今回も本場にたくさんの方のご協力が無事にイベントを終えることができ、皆様に感謝いたします。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

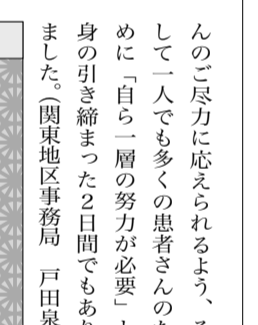
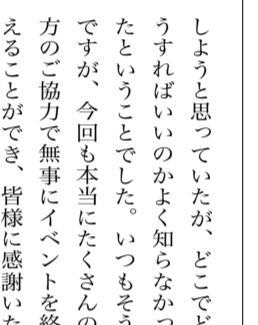
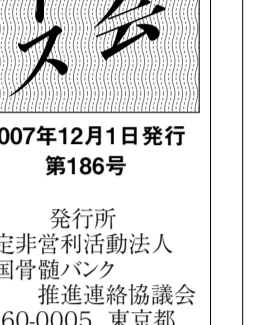
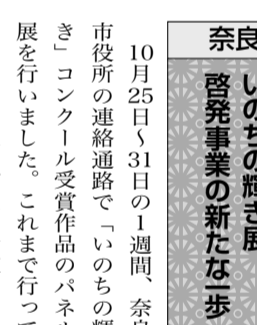
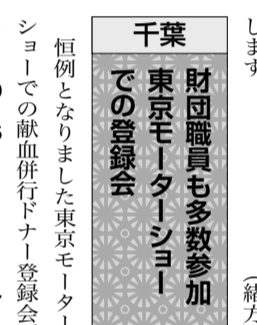
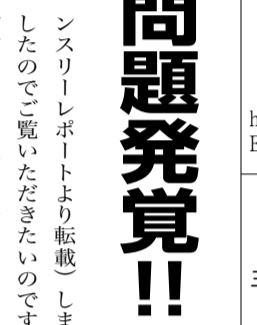
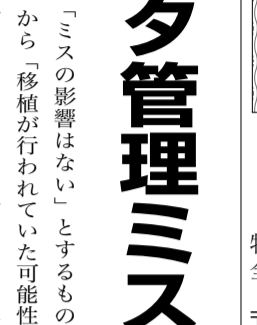
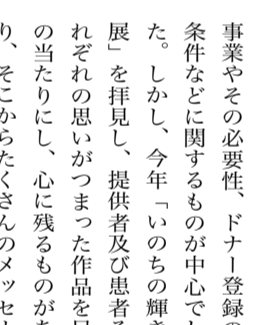
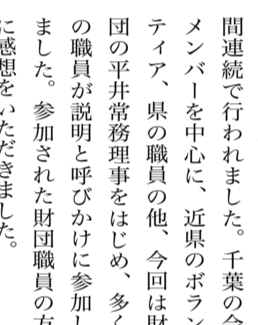
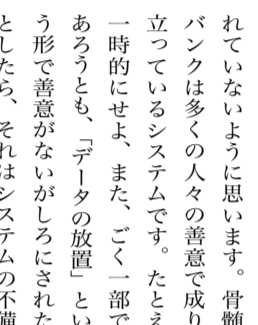
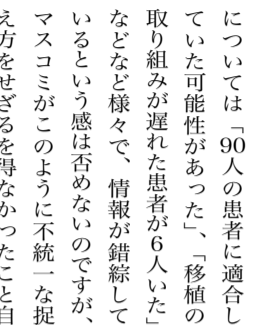
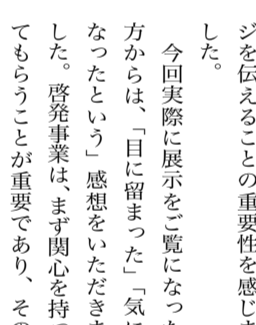
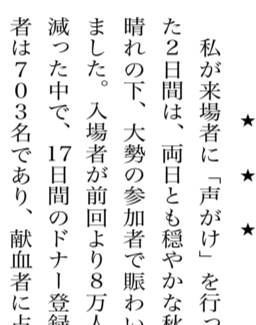
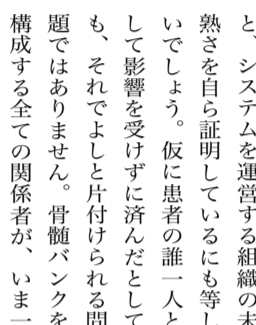
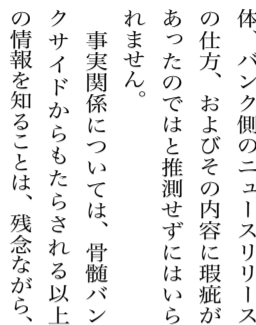
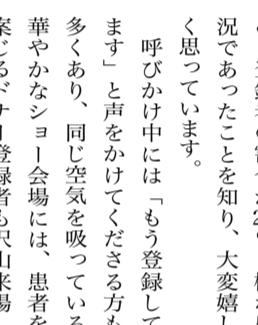
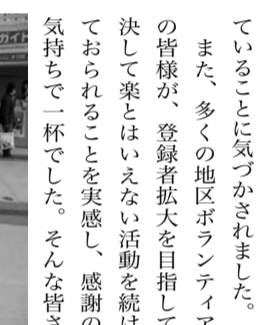
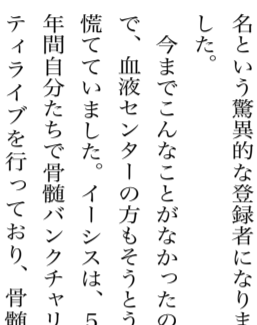
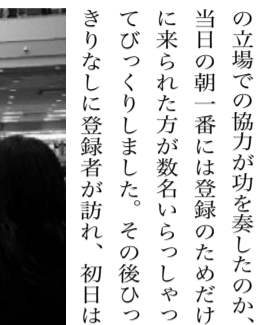
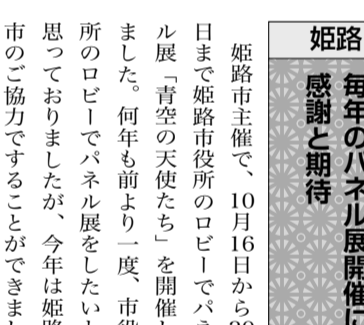
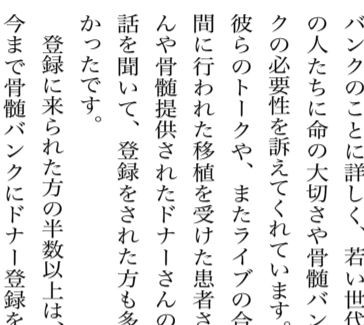
恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)

恒例となりました東京モーターショーでの献血併行ドナー登録会。今年は10月26日、11月11日の17日間連続で行われました。千葉の会場を中心に、近隣のボランティア、県の職員、今回は財団の非常勤理事をはじめ、多くの職員が説明と呼びかけに参加しました。参加された財団職員の方に感想をいただきました。(緒方)



骨髄バンクの最新情報をお知らせする ———— 骨髄バンクNOW

(財団マンスリーレポート(11月15日発行)より抜粋)

●骨髄バンク登録ドナーの保留解除処理のシステム不具合への対応について

11月10日に一部の新報、テレビにて「日赤のデータベース不具合。ドナー3,688人登録漏れ」という報道がありました。報道に至った経緯、今回の事態発生による患者さんへの影響と財団としての対処方針は以下のとおりです。

<経緯>11月7日、日本赤十字社より「今般、登録状態が保留となっている登録ドナーのうち、登録保留期限が過ぎたドナーの保留解除処理につき、システムの不具合により昨年11月30日から今年の10月22日までに3,688件の処理漏れがあった」との報告がありました。この結果、本来であれば検索されるはずの登録ドナーが適切な時期に検索されなかったという事態が発生しました。同件は11月9日に日本赤十字社からマスメディアに発表され、新聞・テレビにて報道されました。

<患者さんへの影響と財団の対処方針>①保留解除処理漏れのあった3,688名のドナーの保留解除処理をした結果、22名の患者さんに対して29名がドナー候補として検索されました。この22名の患者さんのうち13名は、すでにHLAの条件が優位な他のドナーとのコーディネートが進んでいるか、ドナーの健康上の理由等によりコーディネートを進めることができない患者さんでした。したがってこの13名の患者さんについては今回の事態による影響は受けていないことから特段の対処は行っていません。②残りの9名の患者さんのうち1名は、さい帯血移植が終了しています。また2名は主治医の判断により、さい帯血移植を含む移植方針が決定しており、移植完了を見届けつつ、必要であればそのバックアップを準備します。③コーディネート進行中の3名(※)患者さんについては、主治医と連絡をとりながら、可能な限り迅速なコーディネート遂行に注力

してまいります。なお、詳細は財団ホームページの「What's new」(http://www.jmdp.or.jp)をご覧ください。(※)当初は6名でしたが、その後、患者さんやドナーの諸事情により、現時点では3名となりました。

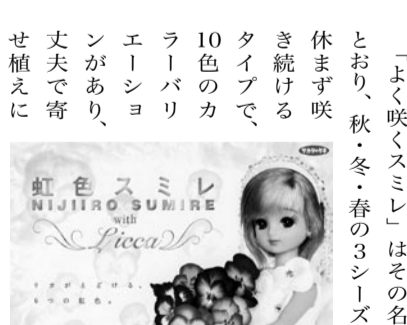
●最終同意確認後の同意撤回に関する説明について 財団は1994年頃から、ドナーに対して「最終同意後は撤回できない」と説明してきました。これについて「いつでも辞退できる」などの表現に変更するかどうか3回にわたり常任理事会で審議した結果、現状どおり「最終同意後は撤回できない」との説明を継続することとされました。また、患者さんに対しては、「財団が十分に意思を確認した上でも、極めて例外的に同意の申し出があり、万一このようなことがおきた場合は強制できないため提供しただけのことがあります。」と説明することとなりました。なお、検討のきっかけとなったWMDA(世界骨髄バンク機構)の認定に関しては、日本骨髄バンクがドナーに骨髄提供を強制しているものではないことから支障はないと理解されて最終的な承認が得られ、認定の運びとなりました。詳細な説明は、財団ホームページの「What's new」(http://www.jmdp.or.jp)をご覧ください。

●医療保険の適用拡大を求める署名を衆議院議長へ提出 平成20年度の診療報酬改定に向けて、非血縁者間骨髄移植にかかる医療保険の適用範囲拡大を請願するための署名活動が進められていましたが、その結果が11月6日の骨髄バンク議員連盟の総会において財団から報告されました。署名総数458,577名、内訳は衆議院議長宛 229,503名、参議院議長宛 229,074名です。骨髄バンク議員連盟会長の野田聖子衆議院議員他7名が河野洋平衆議院議長に請願書を提出され、今後は国会運営や時局を鑑みながら参議院議長にも提出される予定です。

●日本骨髄バンクの現状(平成19年10月末現在)

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,055	4,471	294,162	371,282
患者登録者数	151	209	2,357	23,755
骨髄移植例数	88	96	-	8,811
20歳未満ドナー	-	367	6,349 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	186 ²⁾	128 ³⁾	8,880 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
1) 17年3月~
2) 51歳以上ドナーの延長数
3) 51歳以上ドナーの新規登録数
4) 17年9月~



30日の最終日には、献血併行型ドナー登録会を行い、14名の方が登録して下さいました。「パネル展を見て登録する気になった」と言われる方が多かったと思います。

毎年姫路市主催で、パネル展を色んな場所で行い、登録会をしております。本日に行政が骨髄バンク活動に力を入れて下さることに感謝しております。来年はどこでパネル展を開催して下さいのかが楽しみです。(濱田)

2004年の発売以来、ガーデニング愛好家のみならず、多くの方々に愛されるヒット商品となった「虹色スミレwithリカ」を、お花屋さんや園芸店で見かける季節となりました。販売元の「サカタのタネ」さんからは、今年、新商品の小輪パンジー「よく咲くスミレ」もリリースされました。

「よく咲くスミレ」はその名の通り、秋・冬・春の3シーズン休まず咲き続けるタイプで、10色のカラーパリエーションがあり、丈夫で寄せ植えに

好評パンジーに新商品登場

最適のことです。「虹色スミレ」同様、ほかの花との相性も抜群で、寒い季節からお庭や街の花壇を華やかに飾ってくれることでしょうか。皆さんの自宅にもいかがですか。「虹色スミレ」同様、売上金の一部を全国協議会に寄付いただることにしています。



ブロックセミナー開催

今年もブロックセミナーの開催をお願いしておりますが、全国協議会からの提案として、将来像検討会議報告の内容について、各地で意見交換を行っていただくことになっていきます。

早速開催された2地区から、ご報告いただきました。

●関東甲信越

11月10日、冷たい雨が降りしきる中、新潟・埼玉・東京・神奈川・千葉の5団体15名が千葉県習志野市企業局の会議室に集まり、関東甲信越地区のブロックセミナーが開かれ、新潟から参加しました。

「造血細胞移植医療将来像検討会議報告書」について会議メンバーからの解説を交え、意見交換が行われました。実際に委員である方のお話しをお聞きしながら報告書を読んでいくと、一人で読んでいただけではわからない深い議論が交わされて、報告書がまとめられたのだということがわかり大変参考になりました(夜は懇親会場に場所を移し延々と議論は続きました)。

録会にも参加しました。最終日とあって、会場内は朝から大混雑。そんな中、来場者にボランティア・財団職員・日赤職員がいつしよになって献血とドナー登録を呼びかけ、そして献血される方には、(新潟では)いまだに考えられないことですが)日赤職員が骨髄バンク登録もできることを説明するという流れ。まずは献血してもらおうことがバンク登録の説明のきっかけになるという作戦で、これは日赤と地元千葉の会の協力体制が整っているからに他なりません。

このような大きなイベント会場内での連続開催は、大勢のボランティアの熱意と、日赤と財団と行政(千葉県)の協力があった実現できるのだと痛切に感じました。

新潟でも日赤や行政ともっと協力しあい、千葉県のような献血並行登録会が休日に開催できないものだろうか……と考えさせられた一日でした。(新潟 鳴海)

●中四国

11月17日午後3時から山口市のパルトピアで開催し、鳥取・岡山・徳島などから26名のボランティアが参加しました。

今回のテーマは、初心に返り新しいボランティアのための「骨髄バンクと骨髄移植のいろは」と題した広重幸雄先生(山口の会副会長)の講演と、全国協議会の将来像検討会議メンバーから「骨髄バンクの今後のあり方」の説明があり、参加者で意見交換しました。

我々ボランティアは長い運動の中で、初期にはこういつた骨髄



バンクや骨髄移植を勉強するシンポジウムなどを行っていましたが、最近では登録会が主になって、新しいボランティアを増やす努力を怠っていたように思います。その意味でも価値ある一石を投じたと思います。

また、今まさに目標の30万人ドナーを達成しようとしているとき、今後の骨髄バンクのあり方を説明してもらって、バンクを取りまく事情を地方のボランティアが直接学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。(猶)



「やまがたの会」最強の協力企業さんをご紹介します。桜井仁社長以下、会社ぐるみで協力頂いている布施建設さんです。

ボランティアの仲間たち

布施建設株式会社(山形)の巻

前社長が白血病で他界されたことが、やまがたの会との関わりの始まりでした。これまでも様々な形でご協力頂いていますが、特に今回、10月25日〜11月5日にジャスコ山形南店とジャスコ三川店で開催された「東ちづる戦争とドイッ平和村の子とたち」展では、リアンナとパルシーヤ展では、営業部長の大沼利勝さんが企画展実行委員長に就任、写真展の作品保管には会社の一室が提供され、会場設営・撤収・運搬を5名の社員の方が担当、その他にも、「18歳の決断」チラシの作成等々、会社をあげて支援して下さいました。



今回の展示会は多くの方に協力いただき、成功裏に終えることができましたが、布施建設さんの全面協力が大きな支えとなりました。

これからもやまがたの会の最強応援団として永らくご協力頂きたいと思っています。(小野寺)

各地のたより

姫路

県立兵庫大学で「いのちの輝き展」を開催

11月3日から5日の3日間、兵庫県立大学「工大祭」が姫路書写キャンパスで行われました。姫路市主催でパネル展「いのちの輝き



各地のたより

写真を添えてお寄せください。

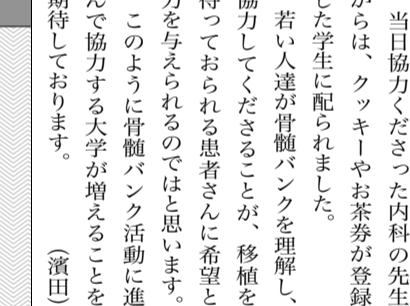
展」を開催、4日にはドナー登録会も行われました。期間中、体育会の学生がパネル展と登録会のチラシを来場者に配布し、募金活動にも協力くださいました。体育会の学生は進んで登録もされ、結果として17名の登録がありました。

当日協力くださった内科の先生からは、クッキーやお茶券が登録した学生に配られました。若い人達が骨髄バンクを理解し、協力して下さることが、移植を待つておられる患者さんに希望と力を与えられるのではと思います。このように骨髄バンク活動に進展で協力する大学が増えることを期待しております。(濱田)

新潟

幸福のレシートでバンダナのプレゼント

毎回ジャスコ上越店から、幸福の黄色いレシートキャンペーンで沢山のご寄付を頂いていました。今回は、どうしても患者さんに役立つものをと考え、治療で髪の毛が抜けしてしまう経験をした会員からの提案でバンダナを選びました。上越地域で血液疾患治療の出来る県立中央病院にお願いして、11月6日、担当医師や外来・入院両看護師長さん達が見守る中、直接患者さんにプレゼントすることが出来ました。



奈良

奈良支部 開設記念式典開催!!

なら骨髄バンクの会は、これまでは天理市のメンバーが中心でしたが、最近奈良市近辺の会員さんが増加したことから、奈良支部と天理支部に分けることになり、11月16日に関係者をお招きして設立記念式典を開催しました。主催者の挨拶と来賓の祝辞の後、奈良市保健所の池野美佳さんに骨髄バンクについてのご講演をいただき、その後、場所を移して関係者そろって懇親会を行い、今後の

山梨

サンクトの調べに乗せ 広がる支援の輪

11月14日、山梨県内でサンクトフローリアンの皆様によるチャリティーコンサートが開催されました。「ホールに入りきれない程の迫力ある演奏!チケット代千円では申し訳ない!」と、募金箱いっぱい皆様の善意をいただきました。本当にありがとうございます。



生活などについて、ユーモアたっぷりに、そして心に残るお話をいただきました。少ない聴衆ではありましたが、骨髄バンクを支えている「思いやりの気持ち」を子どもたちに伝えてほしいという大谷さんの願いは、教師を目指す学生にも届いたことでしょう。この日、埼玉での登録会も掛け持ちしていた大谷さん。終了後すぐに埼玉へと向かったのです……。(千葉大学4年 笹森ゆきの)



今回のコンサートでは、移植を受けられた方のお話を伺う機会にも恵まれました。寒空の中、体調の不安を押してお話をいただきました。長谷川様には、この場を借りて改めてお礼申し上げます。サンクトフローリアンの皆様をはじめ、多くの方々のご支援により、素晴らしい秋の夕べを一緒に過ごしました。本当にありがとうございます。(佐藤)



大谷会長 走る

11月4日、千葉大祭で大谷貴子さんトークショーとドナー登録会が行われました。千葉大学は大谷さんの母校という縁ある場所です。当日は気持ちのよい秋晴れで、構内は多くの人で賑わっていました。教育学部教室での登録会では6名の方の登録がありました。トークショーでは在学当時のことや闘病



おばあちゃんは1子よりパワーを貰い、病気を治すため骨髄移植をお願いし、バンクを通じてドナー様から骨髄の提供を受け、4か月後、退院する事ができました。そして、2人目の孫、太君誕生。このとき、臍帯血バンクへ提供。再度赤ちゃんパワーをいただきましたが、その後、肺ガンとなり、その治療中、肺炎でパパの命は閉じられてしまいました。骨髄移植は成功していただいただけに残念無念です。2人の孫のパワーとドナーさんの骨髄液により生き永らえたこと、多くの皆様の支えがあったこと、有難うございました。

お通夜るとき、アンパンマンのジュースを、娘が棺の中にそっと入れておきました。

心の声

ある夜、娘より電話があり、孫の1子(3才)との話を教えてくれました。

「ママ、お月様を見たの。今日は三日月様だよ」
部屋のカーテンを開け夜空を見ると、1ちゃんの言う通りでした。

「ママ、おばあちゃんが居るよ、手にアンパンマンのジュースを持っていてよ。心配しないでねとよっているよ」
お月様を見ましたが、ママにはおばあちゃんは見えませんでした。

おばあちゃんには子よりパワーを貰い、病気を治すため骨髄移植をお願いし、バンクを通じてドナー様から骨髄の提供を受け、4か月後、退院する事ができました。そして、2人目の孫、太君誕生。このとき、臍帯血バンクへ提供。再度赤ちゃんパワーをいただきましたが、その後、肺ガンとなり、その治療中、肺炎でパパの命は閉じられてしまいました。骨髄移植は成功していただいただけに残念無念です。2人の孫のパワーとドナーさんの骨髄液により生き永らえたこと、多くの皆様の支えがあったこと、有難うございました。

お通夜るとき、アンパンマンのジュースを、娘が棺の中にそっと入れておきました。